

# コロビ屋にまで転落した反動スパイ分子



80.7.14

No. 481

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
(鉄電)二三五八九・(公衆)四三二二七二〇七

## 動力千葉

**卑劣分子 小川建二に代表される テッヂ上げ・タレ」ミ  
卑劣分子 小川建二に代表される テッヂ上げ・タレ」ミ  
路線を怒りをもって粉碎せよ！**

動力千葉は「本部」反動・裏切り分子の命の綱ともいえる「再建支部」策動を一度にいたして完全に粉碎し勝利した。

「再建支部」地本結成大会流産の惨状をインペイしようと大あつて「業務再開」路線のペテンに訴えようとしている。そして、その一方で、かの「四・一五襲撃」敗退→当局権力へのタレコミ、処分要請」という前代未聞の悪らつな反労仇着的路線を完全に自己の基本路線としてとりこみ、文字通り当局の武装親衛隊として権力・当局の先兵として両う労働組合をペテンと暴力で破壊してまゆることのみに熱をあげる鉄労以下の完全なファシスト組合へとどんどん転落していっている。

**「警察を呼ぶゾ」とやめきちらす  
卑劣分子！**

大衆的にわき上る駆場の糾弾・追及に完全にまいってしまい、何の反論もできず逃げまわつていろいろ革マル・嶋田、裏切り分子・斎藤は、ここあるごとに当局に警備を要請し、全く整然とした糾弾・説得行動に対し、一人でスットンキヨウな大声を上げて「警察に訴えてやる」などとやめき、駆場の憎しみをかきたてている。

他方、元広島地本厚徳部の青年部役員をやつこいたといふ佐倉への短期転勤者・小川建二に代表される全く見えすぎた卑劣な「コロビ屋」路線は完全なテッヂ上げタレコミ行為に対し、駆場で激しい怒りがまき起こっている。

**「コロビ屋」小川建二のタレコミ、テマを許さない！**

今日、やれやれの筋の通つた、整然たる追及・説得に「内容的・論理的に全くまいてしまつて」というが故に、ありもしない脅迫・監禁等々のテマをねつ造して焦点をズラし、論争点から逃げようというなさけない低水準の路線の見本が七月二日付の「再建元マ情報ヘヤ三二号」である。

そのことごとくが低劣なテマであるが、たとえば、察の小川建二の部屋にオルグに行き、少く普通に話し合つた組合員の裏名

をあげて「無断で乱入してカニヅメ」「オルグを強要した」なる事実無根のテマ記事が載せられている事に対し、七月五日、佐倉北区乗務員詰所で居あわせた仲間も立ち合いのものと、夷名を書かれた本人自身がきめめて冷静に、その事実についての確認を求め、訂正を要求したのである。およそ40分の神社的話し合いの中で「再建情報に書かれていたような事実は全くなく、ごく普通の話し合いであつた」ことが当然のことながら小川建二自身の証言でも確認され、「私はあんな報告はしなかつたのに再建情報が勝手にあんな風に書いたものである」（だから、自分には責任は無い、という小川の無責任・卑劣さは、置くところも）とまで認め、全く自主的に自らその旨の文書を書き、毎印を押し、謝罪して支部に提出したのである。この全過程は乗務員詰所に居た組合員のすべてが見ておりのことであり、全く脅迫とかつまし上げとか暴行などのイイガカリのかけらすらない整然たるものだつたのである。

ところが、三信ビルや「本部」村上から大臣を喰つた小川は三信ビルと共謀して、これが「佐倉で暴行・リンチ」事件としてねつ造して公安にタレ込むという卑劣な拳に出しているのだ。（小川が「自主的に文書を書いた」という事實はマダイの、暴力で無理矢理強制され書いたという筋書きをせず、鉄労以下の「コロビ屋」小川建二、本部のタレコミ路線を粉粹せよ！）